

塩むすびの話

私も人生そこそ長く生きてきたように思っているが、長生きをしている先輩方にお会いすると60、70歳は鼻たれ小僧さ、と言われているような気がする。

実際百歳の方とお会いする機会がありそんなことを冗談でされていた。

私は、戦後生まれですから生きるの死ぬのという苦しさは知るべくもありませんが、しかし親が満州から引き揚げてきて開拓農家を始め、父親はそのリーダーとして開拓農家の人たちを食べさせ生きなければならぬのですから、家のことはこの次です。

そのため小学生時代から日曜日も、夏休みも無く畑仕事に駆り出されたものです。

私は三男でしたがよく使われました。しかし長男は大変苦勞したようです。留守がちな父親がわりですから。

母親はものすごい働き者でした、今でも当時のことを思い出すと涙が出ます。どんなに忙しい時でも子供たちには食べ物だけはといつもご飯を切らさないようにとじてくれたのですがある時、配給米のお米がきれてしまって食べるものがない、一番困ったのは母親だったでしょうが、一日畑仕事を手伝わされている子供たちにとっては親の気持ちなどわかってはるもなく大声で親をせめ泣きじゃくったものでしょう、しかしそんなことを聞いていた近所のおばさんが塩だけでにぎった白くはなかったおむすびを4つか5つあまり大きくなかったような気がするが持って来てくれたのです。子供心に恥ずかしかったのを覚えているのですがおいしかったこと今でもその味が忘れられない。

今、私がさほど長くないここまでの人生の中もし困っている人がいたらあの塩むすびのような手助けをすることが出来ればと思い行政相談委員をさせていただいている。

行政のあんなこと、こんなこと、相談してください。私が相談にのります。

道路のこと、河川のこと、国や国の出先機関への苦情・要望、市町村へのこまりごと、お気軽にオンラインやメールでご連絡ください。

南牧村担当行政相談委員 黒岩 誠



行政相談委員
黒岩 誠

南牧村の方々へ
黒岩委員への相談については、
「きくみみ長野」まで連絡を



西方の八ヶ岳から見た南牧村